

【栃木県から世界へ！ JICA 海外協力隊】

2022年度2次隊 栃木県各自治体への表敬訪問

国際協力機構（JICA）は、10～11月中旬に、栃木県から2名のJICA海外協力隊員を2022年度2次隊として派遣いたします。隊員たちは任国への出発を前に、下記のとおり栃木県副知事及び市長を表敬訪問いたします。つきましては、貴社媒体にて、栃木県出身のJICAボランティアを県民の皆様にご紹介いただけましたら誠に幸いです。

1. 表敬訪問日程

（敬称略）

表敬先	日時・場所	表敬者
栃木県 副知事 末永 洋之	2022年9月16日（金） 14：00～14：15 特別会議室	同県 JICA 海外協力隊員 2名 （柳 麗子、江面 和彦）
真岡市 市長 石坂 真一	2022年9月22日（木） 11：00～11：30 市長室	柳 麗子
大田原市 市長 相馬 憲一	2022年9月28日（水） 11：30～12：00 市長室	江面 和彦

2. JICA 海外協力隊 リスト

隊員区分	氏名	職種	国名	配属先
海外協力隊	江面 和彦	獣医・衛生	ブータン	ブータン・アニマル・レスキュー・アンド・ケア
【活動内容と抱負】 大田原市において小動物獣医療に携わり、2019年に事業承継しリタイアいたしました。ここ数年のコロナ禍での生活を通して、自分にもまだ何かできることがあるのではと思いました。少しでも社会に恩返しできればと思い協力隊に参加いたしました。				
海外協力隊	柳 麗子	日本語教育	ヨルダン	ヨルダン大学外国語学部 アジア言語学科
【活動内容と抱負】 海外で日本語を教えることで、日本文化や日本社会の理解促進に貢献できると思い、協力隊に参加しました。配属先では、日本語のレベルアップ、日本文化紹介、弁論大会等各種イベントを行う予定です。大学での日本語指導を通して、日本語とアラビア語の違いについて、新鮮な感動を抱いてもらえるよう工夫したいです。その感動が、異文化への理解や好奇心へとつながるよう促したいです。				

3. JICA 海外協力隊とは

JICA 海外協力隊は、日本政府の ODA（政府開発援助）の一環として、独立行政法人国際協力機構（JICA）が実施する事業です。「開発途上国の経済・社会の発展、復興への寄与」、「異文化社会における相互理解の深化と共生」、「ボランティア経験の社会還元」を目的としています。

日本国籍を持つ 20 歳～69 歳の方が対象となり、派遣期間は原則 2 年間。日本で培った知識や経験を活かし、開発途上国と国際協力の志を持った方々が、現地の人々とともに生活し、草の根レベルで開発途上国の抱える課題の改善・解決に貢献します。

詳細は、JICA 海外協力隊 Web サイトをご覧ください。

<https://www.jica.go.jp/volunteer/index.html>

【本件に関する問い合わせ先】
JICA 栃木デスク 熊倉 百合子
TEL : 028-621-0777
(栃木県国際交流協会内)
E-mail : jicadpd-desk-tochigiken@jica.go.jp

(受付欄)

総務課



(承認欄)

所長	次長/総務課長	担当課長	担当者